



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月29日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>
代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）中島 靖
問合せ先責任者 （役職名）取締役総合企画部長 （氏名）吉澤 信幸 TEL 0584-68-1200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年3月21日～2025年12月20日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	35,378	1.2	5,468	△4.0	5,616	△3.6	3,812	△3.4
2025年3月期第3四半期	34,969	2.6	5,693	△0.3	5,823	△0.1	3,946	△0.8

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 3,968百万円（△0.7％） 2025年3月期第3四半期 3,996百万円（△6.1％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	236.01	—
2025年3月期第3四半期	244.73	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	67,300	54,833	80.3
2025年3月期	66,549	53,414	79.2

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 54,039百万円 2025年3月期 52,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	100.00	150.00
2026年3月期	—	50.00	—		
2026年3月期（予想）				80.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年3月21日～2026年3月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	46,914	4.0	6,149	△10.8	6,283	△11.1	4,241	△12.2	262.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	25,607,086株	2025年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	9,447,241株	2025年3月期	9,464,187株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	16,152,307株	2025年3月期3Q	16,127,706株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境に改善が続くなか緩やかな回復傾向で推移いたしました。しかしながら、米国の通商政策や地政学リスク等による景気への影響は想定しにくく、先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループの事業関連である建築業界では、新設住宅着工戸数は物価高によるコスト増加や4月に施行された建築基準法改正による駆け込み着工からの反動により大幅な減少が続いております。また、非住宅建築物の着工状況につきましても前年同期に比べ棟数、床面積ともに減少傾向が続いており、厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは継続的な新製品の市場投入に加え、活発な営業活動を展開してまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、住宅着工件数の減少等の影響はあったものの電材及び管材に加え配線器具の価格改定が浸透したこと等により、売上高は35,378百万円と前年同四半期に比べ409百万円(1.2%)の増収となり、第3四半期の売上高としては過去最高額を更新しました。利益につきましては、増収効果があったものの原材料単価の上昇が収益を圧迫したことにより、営業利益は5,468百万円と前年同四半期に比べ225百万円(4.0%)の減益、経常利益は5,616百万円と前年同四半期に比べ207百万円(3.6%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,812百万円と前年同四半期に比べ134百万円(3.4%)の減益となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

(電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。

電材では、住宅着工件数の減少の影響があったものの施工性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキS」等が堅調に推移したことに加え、耐候性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキMF」等が増加したことや一部製品の価格改定を実施したこと等より電線管類及び附属品が増加しました。一方、管材では、「ミラペックス」等の給水給湯用の樹脂管とその継手が減少した結果、売上高が27,051百万円と前年同四半期に比べ71百万円(0.3%)の減収となりました。営業利益は一部製品の価格改定効果等があったものの原材料単価の上昇が収益を圧迫したことにより4,858百万円と前年同四半期に比べ443百万円(8.4%)の減益となりました。

(配線器具)

配線器具につきましては、電材ルートへの活発な営業活動により、デザインを一新した「J・ワイドスリムスクエア」等の配線器具が堅調に推移したことや価格改定が浸透したことによる効果等により、売上高が6,096百万円と前年同四半期に比べ492百万円(8.8%)の増収となりました。営業利益は減価償却費に加え人件費の増加等があったものの増収効果により706百万円と前年同四半期に比べ166百万円(31.0%)の増益となりました。

(その他)

その他につきましては、電気通信の「ミライレンタルサーバ」が堅調に推移したものの「省力化機械及び樹脂成形用金型」が減少した結果、売上高が2,231百万円と前年同四半期に比べ11百万円(0.5%)の減収となりました。営業利益は「ケーブルテレビ」のコスト削減効果等により526百万円と前年同四半期に比べ85百万円(19.3%)の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて750百万円増加し、67,300百万円となりました。その主な要因は、売上高の増加により受取手形、売掛金及び契約資産が629百万円増加、設備投資により有形固定資産が513百万円増加、繰延税金資産が334百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて668百万円減少し、12,466百万円となりました。その主な要因は、仕入高の増加により支払手形及び買掛金が356百万円増加、法人税等の納付により未払法人税等が814百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,419百万円増加し、54,833百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が1,230百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月24日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,102	20,458
受取手形、売掛金及び契約資産	6,880	7,510
電子記録債権	5,329	5,347
商品及び製品	4,849	4,939
原材料及び貯蔵品	1,693	1,882
有価証券	1,499	1,499
その他	1,123	1,048
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	42,478	42,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,155	5,112
機械装置及び運搬具（純額）	3,219	3,463
土地	4,617	4,617
建設仮勘定	814	1,013
その他（純額）	908	1,022
有形固定資産合計	14,716	15,229
無形固定資産	189	256
投資その他の資産		
投資有価証券	1,774	2,007
繰延税金資産	1,043	708
退職給付に係る資産	1,968	1,977
長期預金	4,000	4,000
その他	482	538
貸倒引当金	△102	△102
投資その他の資産合計	9,166	9,128
固定資産合計	24,071	24,615
資産合計	66,549	67,300
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,859	3,215
電子記録債務	1,871	1,830
短期借入金	40	267
1年内返済予定の長期借入金	124	163
未払法人税等	1,192	377
賞与引当金	—	453
その他	4,425	3,485
流動負債合計	10,512	9,792
固定負債		
長期借入金	81	31
再評価に係る繰延税金負債	60	62
株式付与引当金	1,209	1,234
役員株式付与引当金	57	84
役員退職慰労引当金	110	114
退職給付に係る負債	657	680
その他	443	465
固定負債合計	2,622	2,674
負債合計	13,135	12,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,904	9,904
利益剰余金	54,691	55,921
自己株式	△19,805	△19,773
株主資本合計	51,857	53,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	651	812
土地再評価差額金	△600	△602
退職給付に係る調整累計額	776	709
その他の包括利益累計額合計	827	919
非支配株主持分	728	793
純資産合計	53,414	54,833
負債純資産合計	66,549	67,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年12月20日)
売上高	34,969	35,378
売上原価	20,947	21,602
売上総利益	14,021	13,776
販売費及び一般管理費		
運賃	1,777	1,834
貸倒引当金繰入額	0	△0
役員報酬	211	238
給料及び手当	2,677	2,687
賞与引当金繰入額	141	208
退職給付費用	81	77
株式付与引当金繰入額	19	18
役員株式付与引当金繰入額	25	27
役員退職慰労引当金繰入額	10	10
その他	3,382	3,206
販売費及び一般管理費合計	8,327	8,308
営業利益	5,693	5,468
営業外収益		
受取利息	12	18
受取配当金	62	69
保険事務手数料	4	3
作業くず売却益	15	15
受取手数料	22	18
その他	53	45
営業外収益合計	170	170
営業外費用		
支払利息	4	6
社債発行費	5	5
固定資産除却損	8	7
その他	22	3
営業外費用合計	40	22
経常利益	5,823	5,616
特別利益		
補助金収入	—	53
特別利益合計	—	53
特別損失		
固定資産圧縮損	—	53
特別損失合計	—	53
税金等調整前四半期純利益	5,823	5,616
法人税、住民税及び事業税	1,664	1,459
法人税等調整額	165	279
法人税等合計	1,829	1,739
四半期純利益	3,994	3,876
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,946	3,812

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年12月20日)
四半期純利益	3,994	3,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	160
土地再評価差額金	—	△1
退職給付に係る調整額	△53	△67
その他の包括利益合計	1	91
四半期包括利益	3,996	3,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,948	3,903
非支配株主に係る四半期包括利益	47	64

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年12月20日)
減価償却費	1,603百万円	1,799百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年3月21日 至2024年12月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,123	5,603	32,726	2,242	34,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	186	0	186	3,693	3,879
計	27,309	5,604	32,913	5,935	38,849
セグメント利益	5,302	539	5,842	440	6,282

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,842
「その他」の区分の利益	440
セグメント間取引消去	30
全社費用（注）	△552
棚卸資産の調整額	0
有形固定資産の調整額	△66
無形固定資産の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	5,693

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年3月21日 至2025年12月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,051	6,096	33,147	2,231	35,378
セグメント間の内部売上高 又は振替高	197	0	198	3,946	4,144
計	27,248	6,097	33,345	6,177	39,523
セグメント利益	4,858	706	5,565	526	6,091

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,565
「その他」の区分の利益	526
セグメント間取引消去	24
全社費用（注）	△589
棚卸資産の調整額	△5
有形固定資産の調整額	△53
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	5,468

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。